玉野市立小中学校適正規模・適正配置計画（山田中・東児中）説明会
会議録（概要）

日　時：令和７年６月 27 日（金）19:00～20:00
場　所：山田公民館
対　象：山田小学校区保護者
参加者：７名

１　ご質問

○多様な価値観や人数が増えた方が良いとのことでしたが、山田中と東児中で再編しても生徒数はそれほど増えません。また、再編後に生徒数が減少すれば改めて再編を検討するとのことですが、どのようになるのでしょうか。

→通学に時間がかかり過ぎることもあり、適正な配置として、東方面に中学校を残す必要があると考え、山田中と東児中の再編としています。しかしながら、今後も生徒数は減少する見込みであるため、それを踏まえ、次の段階の再編を検討する必要があると考えています。

○教員が教壇に立たないで授業をしている学校があると聞きました。人数が増えたら、分かっている子と分かっていない子で差が広がることはありませんか。

→教員から生徒への一方通行な従来のやり方ではなく、こどもたちが自ら考え、意見を出し合い、深めていく。そうした授業を今やっています。教えるべきことは教えたうえで、こどもたちがどう解決していくかを考えていく形の授業を行っています。

○再編によって学校がなくたったら、地域や郷土をどのように学ばせていきますか。再編で学校がなくなった地域のことはどうなりますか。

→まずは小学校で自分の住んでいる地域のことを学び、学年が上がるごとに範囲を広げて、小学校区全体のことを学びます。次に中学校では玉野市全体のことを学び、自分が住んでいない玉野内の地域の良さも知ったうえで玉野全体の郷土愛を育てていきたいと考えています。

○個別最適の学びとのことですが、人数が増えると更について行けず、分からなくなるのではないでしょうか。

→基礎を身に付けることは基本となります。人数が増えれば、教員の配置も増やせるようにしていきます。また、非常勤職員や支援員を配置するなどの対応も検討していきます。

○生徒数の多い宇野中は学力が高いのでしょうか。

→学年や教科によって様々ですが、テストや学力状況調査だけでは測ることができない部分があります。知識だけでなく人間力を含めた部分の育成には生徒数が多い方が、職員の配置が充実することで教育の質を向上し、生徒の学力を向上に繋げることが可能となります。

○生徒数が増えると、様々な価値観、多様性が得られるメリットは理解できますが、デメリットはどうでしょうか。不登校はどうでしょうか。

→大きい集団を苦手とする子もいるため、集団への適応が難しいといったデメリットがあります。そうした点への配慮が必要と考えています。また、不登校への対策ですが、教員が多くなれば、様々な目で見ることができるので、気付ける部分も多くなると考えています。多くの教員で組織的に対応、支援していく体制づくりをしていきます。

○学級数が増え、先生が増えると質が高まるとのことですが、具体的にどのような効果があるのか教えてください。

→先生が増えることで、ひとりひとりを大切に見ながら、指導・支援してく組織体制を整え、今後、社会を生き抜いていく

うえで必要な、ある程度の集団の中でコミュニケーションを図り、人間関係を作ることができる力をつけていくことができるようになります。

２　ご意見
なし

３　準備委員会の設置
事務局：準備委員会を設置したいと考えていますが、ご意見等ありますでしょうか？
○再編準備委員会はもう立ち上げることが決まっていますか。
→各学校、各地区で説明会を行い、様々なご意見をいただいたうえで一定程度のご理解を得られたと判断した場合には、８月の設置を予定しています。
○説明会に来られない人や進めてほしくないなど、反対の人の意見は聞かないのでしょうか。
→各学校、各地区で説明会を開催し、様々なご意見をいただいて判断していきたいと考えています。
○説明会ごとの内容や参加人数を知ることはできますか。
→参加人数も含めて、各説明会の内容はお伝えします。
○山田中学校であった説明での保護者の意見はどのようなものでしたか。
→通学や通級指導などについて、ご意見いただきました。また、自分の子どもが在籍している間は再編しないでほしいとの意見もありましたが、一方で、１年生が３人しかいない状況では、再編は仕方がないという意見もありました。